



碧南ロータリークラブ週報

第2722回例会 平成27年2月18日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・岡本彰人



●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のメニュー

和風弁当 大正館

●本日のお客様

薬学博士・香川大学医学部客員准教授 稲川裕之様

会 長 挨 拶

昨日の2月17日は、中部国際空港の開港10周年記念日でした。10年前愛知県としては愛知万博と並ぶ大きなプロジェクトで、これまで計画から準備、開港に至るまでには、多くの難題を乗り越えての事でした。

昭和40年代に空港の建設構想が湧き上がり、三河湾の一色沖も候補にのぼった時には、この三河部も期待したところでありました。色々な事情により今の常滑沖に決定したのだと思いますが、建設屋の立場から言いますと、一色沖の方が地盤もよく安定しているし、気象条件にも恵まれており、建設費もかなり安く抑える事ができ、最適な条件であったと思います。

中部国際空港は初の民間主導の空港として、トヨタ自動車の平野さんが社長として陣頭指揮のもと、トヨタ方式の「カイゼン」を積み上げて遅れていた着工を盛り返し、計画より1ヶ月も早く開港に漕ぎつけました。経営の方も保守、点検をはじめ、管理運営にも効率よく民間の感性で対処され、特に商業施設については、空港利用者以外の集客に力を入れられています。しかしながら、この10年間はリーマンショックや東日本大震災、航空会社の撤退など、平たんな道のりではなかったと思います。

今、利用客は1千万人を超える空港として、世界と中部を結ぶ空のゲートウェイとして、



石橋嘉彦会長

中部の発展のために大いにその役割を担っているところです。セントレア開港10周年にあたり、所感をもって会長挨拶と致します。

幹 事 報 告

本日は4点ほどご報告させていただきます。

- ・ 第8回理事会報告、及び他クラブの例会変更などは幹事報告書の通りでございます。理事会報告事項の、あおいパーク寄贈樹木撤去についてでございますが、あおいパーク正面玄関ロータリーに平成10年に寄贈しましたものが半分枯れてきて危険なため、半分撤去したいという事でございます。
- ・ ロータリーの友事務局より、ロータリー手帳お買い上げのお願いが届いております。本日回覧をしておりますので、お買い上げ希望の方は名簿にご記入をお願い致します。
- ・ 名古屋大須 RC より、「東日本大震災チャリティーコンサート2015」開催の案内が届いております。4月23日の木曜日の午後6時半より金山の名古屋市民会館中ホールにて、6クラブの合唱団が出演されます。ビジターの受付もされるとの事です。平成23年より続いておまして、今までに311万9,058円の寄付が集まったという事でございます。多くの方々のご来場、ご協力をお願い致します。
- ・ 今週末、半田 RC のホストによりまして、地区大会が開催されますが、日曜日にご参加頂く皆様、商工会議所バスの集合時間を8時20分とさせて頂いておりますので、よろしくお願い致します。また、碧南に帰りましてから小伴天様にて懇親会を予定しておりますので、ご予約をよろしくお願い致します。



伊藤正幸幹事

副 幹 事 報 告

本日は2点ほどご報告させていただきます。

- ・ 本日、2月4日の理事会でご承認頂きました次年度の委員会編成表を、メールボックスにて配布しております。
- ・ 出席義務者の方なのですが、次年度の2760地区の地区研修協議会のご案内をさせて頂いております。出席義務者は18名ございまして、次年度のガバナー方針が発表される大切な機会でございますので、ご出席頂きたいと思っております。ご都合により、万一ご欠席される場合は、副委員長様に代理でご出席頂きますよう、お願い致します。なお、職業分類、クラブ会報、会員選考、ニコボックス、出席奨励、プログラムの委員長様は出席義務者ではございません。それ以外の委員長様、役員、理事の方は出席義務者になっておりますので、ご確認の程よろしくお願い致します。



新美雅浩副幹事

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 67 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 10 名)出席者 51 名	
出席対象者 51/61 名	出席率 83.61%
欠席者 16 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 石橋 嘉彦君 奥津さんの記事が中部経済新聞に掲載されました。
- 伊藤 正幸君 2月11日、12日に沖縄でゴルフをして来ました。あったかかったです。
- 杉浦 勝典君 2月9日の私の旭日小綬章の祝賀会にはRCクラブの大勢の方々にはお忙しいところご臨席頂き、有難うございました。発起人代行の黒田さん、商工会議所会頭の平岩さん、RCクラブ会長の石橋さんを始め、発起人の方々にもお世話頂き有難くお礼を申し上げます。尚、大村知事、大西、大見衆議員にはお祝いの言葉を頂き、感謝しております。これからは、ぼちぼち余生を楽しんでやって行きますので、よろしくお願ひします。
- 角谷 信二君 2月度ゴルフコンペにて、久々に優勝しました。
- 平松 太君 孫の文ちゃん6才が、友達におじいちゃんを紹介する時、“これが私のおじいちゃん、とってもやさしくて、イケメンです”と言ってくれました。
- 山中 寛紀君 2月10日、地区財団委員会研修会には長時間に渡り、財団副委員長黒田さま並びに新美副幹事さまにはお付き合い頂き、誠に有難うございました。
- 杉浦 栄次君 新春防火たこあげ大会の反省会で、石橋会長様にたいへんお世話になりました。
- 鈴木 泰博君 本日の卓話の講師 稲川先生をご紹介させていただきます。
- 奥津 順司君 2月17日中部経済新聞に衣浦グランドホテルの記事が掲載されました。好意的な内容でしたので、来期本社から再投資費用を取り付けるのに役立ちそうです。感謝します。

卓話

「自己免疫力アップ↑ 病気に負けない体作り」
薬学博士・香川大学医学部客員准教授 稲川裕之様



ご紹介に預かりました稲川です。このような会でお話させて頂けるという事で、すごくドキドキ、ワクワクしております。

稲川裕之様

早速ですが、お医者さんの前でなんです、健康は自分で守るものであり、医者が守っ

てくれるものではありません。ここで大事ななのは自分の中にある自然治癒力で、私達が発見した大事な物質についてお話させていただきます。

健康寿命は実際の寿命より、10年も短いのです。介護は必要な期間が10年もあるのです。この10年間の病気というのは、感染症や生活習慣病やがんです。これらの原因というのが、感染症は細菌やウイルスです。心筋梗塞や動脈硬化は、酸化LDLという身体の中のゴミです。生きている限り身体の中には色んなゴミができます。アルツハイマーは、アミロイドβという脳のゴミです。糖尿病は、最終糖化産物（AGEs）という糖とタンパク質が結合したゴミです。これがメインの原因だと言われております。老化は、変性タンパク質や死んだ細胞です。がんは、変化してしまった異型細胞です。

細菌やウイルスだけは身体の外から来るものです。他はみんな身体の中にできるゴミなのです。多くは、運動不足や過食、栄養不足などの生活習慣で生じる生体内異物が原因です。生体内異物はマクロファージ（食細胞）が受容体で認識して排除しています。体内のゴミが受容体と結合して、マクロファージに取り込まれ、消化しています。これが免疫というものです。

マクロファージの生理的な活性化状態には色々な段階があります。最終的な活性化状態になると悪者扱いされますが、プライミング状態であれば貪食能がアップし、非常に大事だという事を説明したいと思います。

ストレスはマクロファージを抑制してしまいます。マウスを手術して、強いストレスをかけるとマクロファージがほとんど検出できなくなります。1万分の1以下になってしまいます。この状態で黄色ブドウ球菌を注射します。元々、黄色ブドウ球菌は身体にいる菌ですので、毒性は低いです。ところが手術をしますと死んでしまいます。異物を排除するマクロファージの能力が低下しているからなのです。

ここでプライミングを導入するとどうなるかと言いますと、マクロファージの活性がそれほど落ちなくなりました。手術後に感染させても明らかに死亡率が低下しました。大きな手術をしなければならなくなった時、必ず免疫は低下致します。その前にプライミングを誘導しておくことで感染症になりにくくなるのです。

また、手術後にはがん細胞も血液中に飛び散ってしまいますので、転移する確率が格段に上がってしまいます。プライミングに誘導しておけばがんも抑制できます。

マクロファージはストレスに弱いですが、プライミング状態にあれば、予防できます。がん手術する前にプライミングに誘導できればかなり有効な手段ではないかと思えます。

ではどのようにプライミングすればいいのでしょうか。ヒポクラテスはこのように言っております。「汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ。」また、「薬食同源」という言葉があるように、東洋でも西洋でも経験から同じ事が考えられてきております。1990年より、水野伝一先生が、食べ物でマクロファージをプライミングできる物質があるはずだ、と研究を始めました。これからご紹介するLPSが身体にとって大事なんだ、と平成4年の講書始の儀で天皇陛下の前で発表もされております。

水野先生は小麦に注目し、パントエア菌（LPSp）という物質を見つけました。パントエア菌は植物の内部では作られない物質で外から植物内に入り、窒素固定、成長促進、感染防除

作用があります。パントエア菌はほとんどの植物から検出されました。という事は既にみんなが食べている事になります。ヨーロッパで発酵ライ麦パンがあります。調べた所、先にパントエア菌が増え、後で乳酸菌が増えるというのです。

植物にはパントエア菌が善玉菌として植物の成長、感染防除に働いているが、人にも働いている事を発見しました。

非常に有効なものを見つけましたので、これを開発しようという事で、自然免疫技術研究組合で作りました。これは経済産業省が支援する組合です。ここで色んな企業と組合が研究を行っております。

ここまでのまとめとして、マクロファージは身体の異物を排除して、健康を保つ力の中心的な存在です。しかし、ストレスで働かなくなります。プライミング状態の誘導でストレスに強くなります。LPS を飲んでもマクロファージはプライミングできます。という事が言えます。

現代の子は非常にアレルギーが多いです。この環境因子をドイツで調べたところ、LPS が少ない事が分かりました。食べる物の中に含まれる LPS が圧倒的に少なくなりました。自然農法と通常栽培で作られた稲を比べると根の大きさが10倍ほど違います。自然農法では栄養が中々とれないので、植物自体が栄養をとろうと必死で根を伸ばします。

それだけでなく、現在では植物工場がどんどん発達していっておりますが、植物工場で作られた植物には LPS が含まれておりません。現代では LPS を摂取する機会がどんどん減っております。

現代の生活は除菌、殺菌、滅菌で衛生的になり、農薬や肥料を使い土の共生細菌が減り、環境からの免疫ビタミンや LPS が不足している事が分かります。これがアレルギーや多くの生活習慣病が激増している原因だと考えられます。

現在では日本政府もアルツハイマー病の研究にも力を入れております。アミロイドβというのが脳内に蓄積されて発症します。蓄積されはじめてから発症するまで約15年かかります。それを脳内のマクロファージが食べてくれています。ところが年とともにこの機能が低下してしまいます。低分子 LPS を投与するとアミロイドβを抑制する事ができます。

また、LPS 添加した飲料を日常的に摂取している100名からアンケート形式でインフルエンザ発症に与える影響について調べました。摂取していない人に比べインフルエンザの発症リスクが小さい傾向が見られました。3倍近く違いました。

抗生物質は感染を防ぐために飲みますが、抗生物質を飲んだ方が体内に入る細菌が増えるという事が分かりました。抗生物質を飲みますと10倍も体内に入ってくる菌が増えますが、その副作用を LPS で予防する事ができます。抗生物質はがん免疫療法の効果を低下させるが、LPS の経口投与で回避できます。

最後のまとめとしまして、以下の事が言えます。

- 1、マクロファージが生体内異物を排除していることが健康を保つ仕組みの一つ。
- 2、マクロファージを元気にする LPS は、身体の健康状態を維持する作用がある。
- 3、現代人は環境と食事と薬で、LPS (免疫ビタミン) 不足になっている。

LPS を摂取して健康維持していければいいと思います。

ご静聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成27年3月4日（水）

クラブフォーラム「災害を知り、備えをしましょう！」

地区社会奉仕委員会 委員長 鈴木與左衛門氏

あいち防災リーダー 早川澄男氏